

35 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 (競争的資金)

【5, 217 (4, 576) 百万円】

対策のポイント

農林水産・食品分野の成長産業化に必要な研究開発を、基礎から実用化まで継ぎ目なく推進します。産学官の技術力と柔軟な発想を活かした新品種開発研究を新たに支援します。

<背景/課題>

- ・農林水産・食品分野の成長産業化を図るためには、産学の研究勢力を結集し、公的研究機関等の基礎的研究の成果を基に着実に生産現場等で実用化につながる技術的成果を創出することが重要です。
- ・研究開発を提案公募方式により基礎段階から実用化段階まで継ぎ目なく支援するとともに、優れた研究成果を創出した研究課題は次の研究段階に進める仕組みを導入しています。
- ・新たに、産学官の技術力を活かし、実需者等の多様なニーズに応じた新品種の開発の支援を行います。

政策目標

実施課題の90%において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出(平成29年度)

<主な内容>

1. 提案公募による研究開発

(1) シーズ創出ステージ

産学の研究機関の独創的な発想に基づき、将来、アグリビジネスに結びつく革新的な技術シーズを創出するための研究開発を支援します。

(2) 発展融合ステージ

創出された技術シーズを基に、異分野の産学の研究機関との融合や研究人材の交流により、実用技術の開発に向けて発展させるための研究開発を支援します。

(3) 実用技術開発ステージ [拡充]

国の重要施策や農林水産・食品分野の現場の多様なニーズに対応した技術の実用化に向けた研究開発を支援します。

また、新たに研究開発当初から実需者等のニーズを的確に反映させ、農産物の「強み」を生み出す品種育成を支援します。

2. 研究課題の進行管理や研究成果の普及等に関する調査分析

研究課題の審査、進行管理、評価から普及状況等の把握まで一貫した調査・分析を行うとともに、研究開発の成果の普及等を推進します。

委託費
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：
農林水産技術会議事務局 研究推進課 (03-6744-7044)

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

農林水産・食品分野における産学連携による研究開発を基礎から実用化段階まで継ぎ目なく推進するとともに、**新たに、攻めの農林水産業に対応した新品種開発を支援するため、「育種対応型」を創設**

基礎段階

応用段階

実用化段階

シーズ創出ステージ

産学の研究機関からの独創的な発想から、将来、アグリビジネスにつながる革新的なシーズを創出する研究開発を推進。

研究期間：原則3年以内

研究費：

Aタイプ 5千万円以内/年

Bタイプ 1千万円以内/年

新規公募
を実施

発展融合ステージ

【産学機関結集型】

産学の研究機関が結集し、発展的な応用研究を推進。

【研究人材交流型】

農林水産・食品分野の研究機関と異業種の研究機関の間で研究者の派遣・交流等によって、発展的な応用研究を推進。

※ 多段階選抜方式を導入

フェーズⅠ

研究期間：1年間

研究費：Aタイプ、Bタイプ共通
5百万円以内/年

フェーズⅡ

研究期間：原則2年以内

研究費：Aタイプ 5千万円以内/年
Bタイプ 1千万円以内/年

新規公募
を実施

実用技術開発ステージ

【現場ニーズ対応型】

実用化に向けた出口(研究成果)を明確化した技術開発を推進。

研究期間：原則3年以内

研究費：Aタイプ 3千万円以内/年

Bタイプ 1千万円以内/年

【重要施策対応型】

総合特区、地域イノベーション戦略推進地域に対応した技術開発を推進。また、緊急対応を要する場合も対応。

研究期間：原則3年以内

研究費：2千万円以内/年

【育種対応型】（拡充）

- ・ 研究開発当初から実需者等のニーズを的確に反映させ、産学官の技術力を活かし、農産物の「強み」を生み出す品種育成を推進。
- ・ 研究初期から実需者と研究機関等が一体となったコンソーシアムを対象。

研究期間：原則5年以内（早期育成を優先）

研究費：Aタイプ 2千万円以内/年

Bタイプ 1千万円以内/年

新規公募
を実施

※優れた研究成果を創出した課題は、公募を通さずに次の研究ステージに移行できる仕組みを導入